

# 中国A株ファンド

## 愛称：ザ・チャイナ

### 第10期運用報告書（全体版）

（決算日 2014年12月10日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2010年2月26日から2020年6月10日まで	
運用方針	中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	中国A株ファンド	円建の外国投資信託である「申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド」受益証券および親投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド	中国の金融商品取引所に上場する人民元建株式（A株）に価格が連動する有価証券（株価連動証券、有価証券関連デリバティブ取引）等を主要投資対象とします。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。	
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「中国A株ファンド」は、2014年12月10日に第10期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3

お問い合わせ先

投信営業部 03-3434-5544

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

## 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			上海A株指数 (円換算)		深センA株指数 (円換算)		債券 組入比率	債券 先物比率	申銀萬國- T&Dチャ イナAシエ アファンド 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
6期(2012年12月10日)	6,203	0	△6.3	28,544	△4.4	10,851	△10.7	3.5	—	91.2	839
7期(2013年6月10日)	7,354	0	18.6	36,741	28.7	16,284	50.1	2.1	—	90.5	657
8期(2013年12月10日)	7,739	0	5.2	39,785	8.3	18,900	16.1	1.6	—	91.9	491
9期(2014年6月10日)	5,887	0	△23.9	34,937	△12.2	18,007	△4.7	2.5	—	92.3	331
10期(2014年12月10日)	8,537	0	45.0	57,549	64.7	28,204	56.6	0.5	—	93.9	407

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数である上海A株指数(円換算)および深センA株指数(円換算)は、上海A株指数(人民元建)および深センA株指数(人民元建)【出所: Bloomberg】を当社が円換算したものです。なお、指数算出にあたっては基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を前営業日のWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時の為替レートで円換算しております。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		上海A株指数 (円換算)		深センA株指数 (円換算)		債券 組入比率	債券 先物比率	申銀萬國- T&Dチャ イナAシエ アファンド 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率			
期首(前期末) 2014年6月10日	円	%		%		%	%	%	%
	5,887	—	34,937	—	18,007	—	2.5	—	92.3
6月末	5,988	1.7	34,764	△0.5	18,505	2.8	2.5	—	92.2
7月末	6,403	8.8	38,044	8.9	20,008	11.1	2.4	—	92.6
8月末	6,412	8.9	38,814	11.1	21,135	17.4	2.5	—	92.5
9月末	6,858	16.5	43,885	25.6	24,609	36.7	2.4	—	92.5
10月末	6,670	13.3	44,600	27.7	25,118	39.5	2.8	—	92.5
11月末	7,663	30.2	52,861	51.3	28,400	57.7	1.4	—	93.7
期末 2014年12月10日	8,537	45.0	57,549	64.7	28,204	56.6	0.5	—	93.9

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

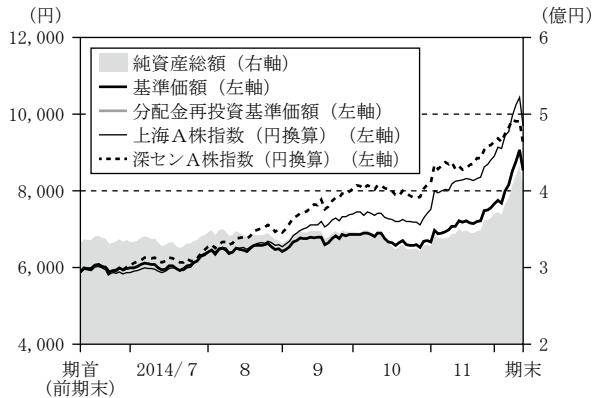
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。参考指数である上海A株指数(円換算)および深センA株指数(円換算)は、上海A株指数(人民元建)および深センA株指数(人民元建)【出所: Bloomberg】を当社が円換算したものです。なお、指数算出にあたっては基準価額への反映を考慮して前営業日の指数を前営業日のWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時の為替レートで円換算しております。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第10期首：5,887円

第10期末：8,537円（既払分配金0円）

騰落率：45.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2014年6月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは外国投資信託「申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド」を通じて中国A株に価格が連動する有価証券等への投資を行ったため、中国A株市場が上昇したことが基準価額上昇の要因となりました。

### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド	49.9%
マネーアカウントマザーファンド	0.0

### ■ 投資環境

#### 【中国A株市場】

中国A株市場は、堅調な展開となりました。期初から10月まで、国有企業改革等の経済構造改革、景気対策の継続、上海・香港株式相互取引の解禁等に対する期待感や中国の経済指標の悪化が一服したことなどから上昇基調での展開となりました。11月に入ると、上海・香港株式相互取引が解禁されたことが上海市場の国際化に繋がるとの見方や中国人民銀行の予想外の利下げ発表により、中国景気に対する懸念が後退したことなどから期末にかけ大幅に上昇しました。

#### 【為替動向】

中国人民元は対円で上昇しました。中国人民元為替レートは対円で17.0%の上昇、対ドルで1.0%の上昇となりました。

#### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。6月以降、国債の大量償還やECB（欧州中央銀行）のマイナス金利導入により海外投資家からの需要が加わったことや、日銀によるマイナス金利での国庫短期証券の買入オペ等をきっかけとして需給がひっ迫し、10月中旬には利回りは $\Delta$ 0.07%程度まで低下しました。その後、日銀が国庫短期証券の買入オペ金額を減額したことなどを受け11月上旬には利回りは0.01%程度まで反発しましたが、追加金融緩和を背景に利回りは再度低下に転じ、期末は $\Delta$ 0.006%程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 【当ファンド】

当ファンドは、申銀萬國アセット・マネジメント（アジア）が運用する主として個別の中国A株銘柄に連動する株価連動証券等に投資する「申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド」受益証券と主として国内の国債、公社債に投資する「マネーアカウントマザーファンド」受益証券を主要対象とするファンド・オブ・ファンズです。

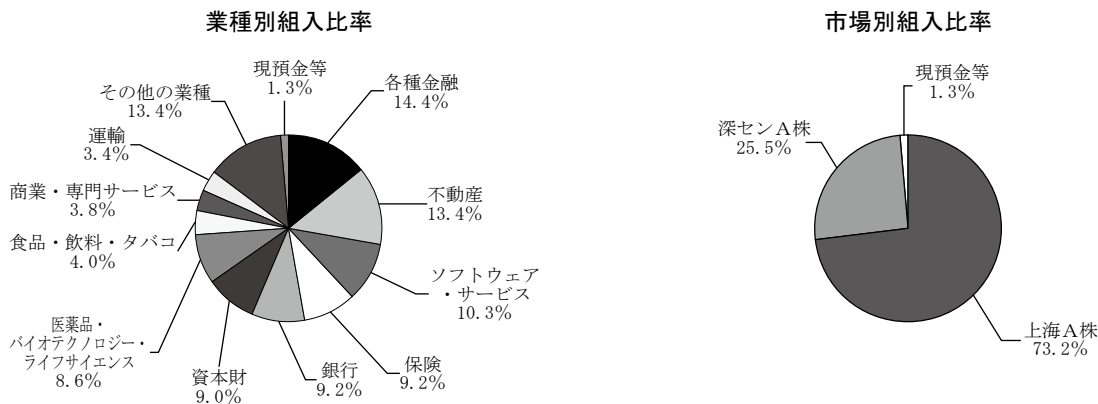
期を通じて「申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド」を92～94％程度、「マネーアカウントマザーファンド」を2～3％程度組入れて運用を行いました。

### 【申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド】

業種別では、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス、食品・飲料・タバコ、ソフトウェア・サービスなどの消費、サービスセクター等を重視する運用を行いました。景気敏感セクターとのバランスに留意しました。銘柄選択に当たっては、業績見通しに対し割安感がある銘柄の株価連動証券等の組入れを行いました。個別銘柄では、証券会社の中信証券、不動産会社の北京城建設計発展等がプラスに寄与しました。

11月末時点で株価連動証券の組入比率は98.7％、組入銘柄は26銘柄となりました。業種別組入比率上位の業種は、各種金融、不動産、ソフトウェア・サービス、保険、銀行となりました。

＜申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンドの組入状況＞  
2014年11月末現在（現地基準）



## 組入上位10銘柄

	銘柄名	市場	業種	比率	概要
1	中信証券	上海A株	各種金融	6.6%	証券会社で、証券仲介、取引、引受の他、投資銀行、資産管理などの業務を手掛けています。
2	北京城建設計発展	上海A株	不動産	6.2%	不動産会社で、北京で事務所や住宅の開発、販売に従事しています。
3	ピンアン・インシュランス	上海A株	保険	5.5%	中国の大手保険会社で、生保・損保の両保険サービス提供のほか各種金融商品の販売も行っています。
4	江蘇恒瑞医薬	上海A株	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.3%	医薬品メーカーで、抗腫瘍剤、鎮痛剤、抗感染薬等を製造、販売しています。
5	包頭北方創業	上海A株	資本財	5.0%	鉄道車両、特殊車両、自動車用部品等の設計、製造、販売に従事しています。
6	中国民生銀行	上海A株	銀行	4.4%	一般商業銀行で、預金、融資、決済、手形割引、債券発行、政府債の引受・売買、信用状、銀行保証等の業務を手掛けています。
7	ヨンユー・ソフトウェア	上海A株	ソフトウェア・サービス	4.1%	ソフトウェアメーカーで、企業向けに財務、オンラインソフト、セキュリティ開発等のビジネス・アプリケーション・ソフトを開発、販売しています。
8	内モンゴ伊利実業集団	上海A株	食品・飲料・タバコ	4.0%	乳製品メーカーで、牛乳、粉末乳、アイスクリーム等を製造しています。
9	海通証券	上海A株	各種金融	4.0%	証券会社で、証券仲介および自己売買、証券代行、発行、引受等の業務に従事しています。
10	ポリ不動産グループ	上海A株	不動産	4.0%	不動産開発会社で、住宅の開発、販売、不動産のリースおよび管理を行っています。

(注) 「申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド」の運用会社である申銀萬國アセット・マネジメント（アジア）より入手したデータをもとに作成しています。

(注) 比率は、「申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド」の純資産総額に対する比率です。

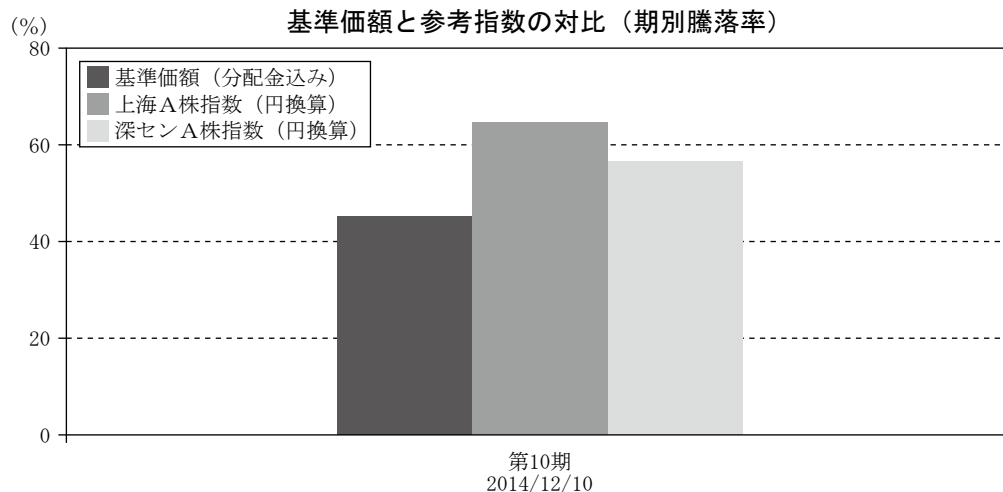
(注) 株価連動証券等の原資産である個別の中国A株の属性をもとに算出しております。

### 【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の組入比率は期を通じて、概ね80%程度の水準としましたが、期末にかけては国庫短期証券の利回りがマイナスになったことから組入れを見送り、22%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



当ファンドの基準価額は期首5,887円からスタートし、期末は8,537円となり、45.0%上昇しました。同時期の上海A株指数（円換算）は64.7%上昇、深センA株指数（円換算）は56.6%上昇しました。基準価額上昇の主な要因は、「申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド」を通じて保有している株価連動証券の値上がりによるものです。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市場動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

「申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド」受益証券の組入比率を高位とし、「マネーアカウントマザーファンド」受益証券の組入比率を3%程度で維持する運用を行います。

### 【申銀萬國－T&DチャイナAシェアファンド】

中国政府が国内景気を活性化させるために国有企業改革等の改革を推し進めていること、中国人民銀行が金融緩和のサイクルに入っていること、香港・上海株式相互取引の解禁により、海外の資金がこれまで以上に上海市場に流入することが期待できることなどから、中国A株市場は底堅い展開が続くと考えています。

このような環境の下、金融緩和の恩恵を受けるセクターに注目しつつ、銘柄選択においては成長性の確度が高く、株価バリュエーションが妥当な銘柄を重視し、選別強化を図る方針です。

### 【マネーアカウントマザーファンド】

国内景気は、輸出の伸び悩みなどを背景に景気回復ペースが鈍化しており、消費増税の影響を乗り越えて再び回復ペースを速めるにはかなりの時間を要するものと思われます。また、世界的な物価上昇率の低下もありインフレ期待も急速に盛り上がる可能性は小さいものと思われます。

短期金利については、日銀が大量の資金供給を続けていることから、余剰資金を抱えた投資家からの国庫短期証券への強いニーズも継続し、引続き低位安定の推移を予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2014年 6 月11日から2014年12月10日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	(2014/6/11~2014/12/10)		
	金額	比率	
平均基準価額	6,665円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	47円 ( 17) ( 29)  ( 1)	0.709% (0.253) (0.435)  (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 ( 監査費用) 合計	0 ( 0) 47	0.004 (0.004) 0.713	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2014年 6 月11日から2014年12月10日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド	千口	千円	千口	千円
		—	—	8.60833	58,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし口数が単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2014年 6 月11日から2014年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。



組入資産の明細 (2014年12月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド	千口 52,08745	千口 43,47912	千円 382,556	% 93.9

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。ただし口数が単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 10,300	千口 10,300	千円 10,339

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は647,607千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2014年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
申銀萬國-T&DチャイナAシェアファンド	千円 382,556	% 92.7
マネーアカウントマザーファンド	10,339	2.5
コール・ローン等、その他	19,816	4.8
投資信託財産総額	412,711	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	412,711,227円
コール・ローン等	15,814,820
申銀萬國-T&Dチャイナ Aシェアファンド(評価額)	382,556,472
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	10,339,931
未 収 入 金	4,000,000
未 収 利 息	4
(B) 負 債	5,219,882
未 払 解 約 金	2,773,376
未 払 信 託 報 酬	2,431,720
そ の 他 未 払 費 用	14,786
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	407,491,345
元 本	477,320,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 69,828,655
(D) 受 益 権 総 口 数	477,320,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,537円

(注) 期首元本額 562,860,000円  
 期中追加設定元本額 20,000円  
 期中一部解約元本額 85,560,000円

(注) 元本の欠損  
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は69,828,655円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8537円です。

### 損益の状況

当期 自2014年6月11日 至2014年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,295円
受 取 利 息	1,295
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	128,933,146
売 買 益	134,656,960
売 買 損	△ 5,723,814
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,446,506
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	126,487,935
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 167,509,225
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 28,807,365
(配 当 等 相 当 額)	( 105)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 28,807,470)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 69,828,655
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 69,828,655
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 28,807,365
(配 当 等 相 当 額)	( 105)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 28,807,470)
分 配 準 備 積 立 金	33,921
繰 越 損 益 金	△ 41,055,211

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

### 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,295円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、収益調整金 (105円) および分配準備積立金 (32,626円) より、分配対象収益は34,026円 (1万口当たり0.7円) となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

## 分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2014年6月11日 ～2014年12月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### 《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、委託会社が投資者に対して交付する運用報告書(全体版)について、電子媒体による提供を可能とするよう、約款変更を行いました。

平成26年12月1日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。

---

---

組入投資信託証券の内容

---

---

申銀萬國－T & DチャイナAシェアファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用方針・ 主要運用対象	中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 中国の金融商品取引所に上場する人民元建株式（A株）に価格が連動する有価証券（株 価連動証券、有価証券関連デリバティブ取引）等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	①株価連動証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
決 算 日	毎年6月30日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
投資顧問会社	申銀萬國アジア・ファンド・マネジメント・リミテッド（所在地：ケイマン諸島）
副投資顧問会社	申銀萬國アセット・マネジメント（アジア）リミテッド（所在地：香港） ※外国投資信託の実質的な運用は、同社が行います。

以下の記載は、申銀萬國アセット・マネジメント（アジア）リミテッドより入手した監査済報告書の一部を当社が和訳したものであり、当社はその内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書 (2013年7月1日～2014年6月30日)

	(円)
<b>収益</b>	
金融資産に係る評価損益	5,603,411
受取配当金	9,851,539
<b>投資収益合計</b>	<u>15,454,950</u>
<b>費用</b>	
運用報酬	(1,264,672)
投資顧問料	(1,475,455)
受託報酬	(3,047,961)
管理費用	(7,661,644)
監査費用	(2,539,917)
ライセンス料	(28,075,142)
売買費用	(176,446)
弁護士費用	(417,168)
銀行手数料	(84,496)
その他費用	(1,166,150)
<b>費用合計</b>	<u>(45,909,051)</u>
<b>税引前損益</b>	(30,454,101)
源泉徴収税	<u>(1,021,796)</u>
<b>包括損益</b>	<u><u>(31,475,897)</u></u>

(注) 日付は現地基準。

(注) ( ) 書きは負数。

## (2) 組入資産の明細 (2014年6月30日現在)

銘	柄	証券数	評価額	比率
<u>Equity-linked note</u>		(証券)	(円)	(%)
	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-A CFD Equity	35,000	8,982,758	2.9
	BAOTOU BEIFANG CHUANGYE CO-A Equity	72,000	14,752,490	4.8
	BEIJING URBAN CONSTRUCTION-A Equity	80,000	9,756,627	3.1
	CHINA INTERNATIONAL TRAVEL-A Equity	22,000	11,867,297	3.8
	CHINA INTL MARINE CONTAIN Equity	35,000	7,691,343	2.5
	CHINA RAILWAY CONSTRUCTION-A Equity	18,000	1,354,761	0.4
	CHONGQING CHAN-A Equity	70,000	14,068,416	4.5
	CITIC SECURITIES CO-A SHARES Equity	70,000	13,096,998	4.2
	GOERTEK INC -A Equity	5,500	2,393,933	0.8
	GREE ELECTRIC APPLIANCES I-A Equity	30,000	14,424,330	4.7
	HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A Equity	47,000	12,998,713	4.2
	HENAN SHUANGHUI INVESTMENT-A Equity	30,000	17,529,602	5.7
	INNER MONGOLIA YILI INDUS-A Equity	20,000	10,814,574	3.5
	JIANGSU HENGRU Equity	27,000	14,617,307	4.7
	LESHI INTERNET INFORMATION-A Equity	20,000	14,334,535	4.6
	PING AN INSURANCE GROUP CO-A Equity	20,000	12,845,572	4.1
	POLY REAL ESTATE GROUP CO -A Equity	150,000	12,146,804	3.9
	SHANGHAI PUDONG DEVEL BANK-A Equity	70,000	10,342,743	3.3
	SINOLINK SECURITIES CO LTD-A Equity	40,000	12,976,183	4.2
	SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A Equity	60,000	16,172,882	5.2
	TASLY PHARMACEUTICAL GROUP Equity	35,000	22,154,040	7.2
	TBEA CO LTD-A CFD Equity	74,682	10,351,725	3.3
	TOP RESOURCE CONSERVATION-A Equity	35,000	6,948,494	2.2
	ZHEJIANG HUACE FILM & TV-A Equity	15,000	7,824,403	2.5
	ZHONGLI SCIENCE AND TECH-A Equity	45,000	12,776,185	4.1
<b>合計</b>	<b>25銘柄</b>	<b>—</b>	<b>293,222,713</b>	<b>94.6</b>

(注) 日付は現地基準。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。小数第2位を四捨五入。

## マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第10期（決算日 2014年12月10日）  
（計算期間 2014年6月11日から2014年12月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2014年12月10日に第10期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
6期（2012年12月10日）	10,027	0.0	78.8	—	百万円 418
7期（2013年6月10日）	10,031	0.0	81.2	—	431
8期（2013年12月10日）	10,034	0.0	77.9	—	359
9期（2014年6月10日）	10,036	0.0	80.6	—	458
10期（2014年12月10日）	10,038	0.0	21.5	—	650

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2014年 6 月 10 日	10,036	—	80.6	—
6 月末	10,036	0.0	79.4	—
7 月末	10,037	0.0	80.5	—
8 月末	10,037	0.0	80.7	—
9 月末	10,037	0.0	79.7	—
10 月末	10,037	0.0	88.7	—
11 月末	10,038	0.0	50.8	—
期 末 2014年12月10日	10,038	0.0	21.5	—

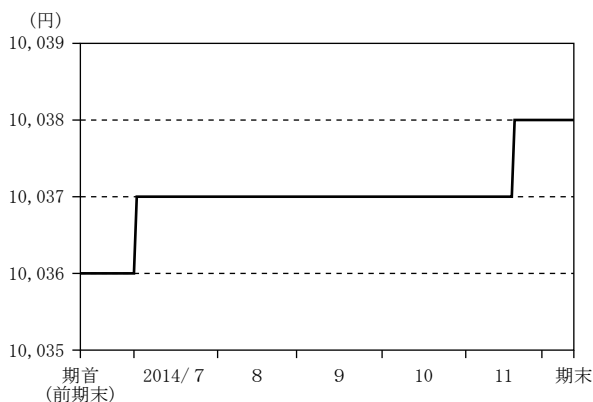
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、運用対象である国庫短期証券やコールローンの利回りが超低位で推移したため小幅な上昇になりました。



## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。6月以降、国債の大量償還やECB（欧州中央銀行）のマイナス金利導入により海外投資家からの需要が加わったことや、日銀によるマイナス金利での国庫短期証券の買入オペ等をきっかけとして需給がひっ迫し、10月中旬には利回りは $\Delta 0.07\%$ 程度まで低下しました。その後、日銀が国庫短期証券の買入オペ金額を減額したことなどを受け11月上旬には利回りは $0.01\%$ 程度まで反発しましたが、追加金融緩和を背景に利回りは再度低下に転じ、期末は $\Delta 0.006\%$ 程度となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の組入比率は期を通じて、概ね80%程度の水準としましたが、期末にかけては国庫短期証券の利回りがマイナスになったことから組入れを見送り、22%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

国内景気は、輸出の伸び悩みなどを背景に景気回復ペースが鈍化しており、消費増税の影響を乗り越えて再び回復ペースを速めるにはかなりの時間を要するものと思われます。また、世界的な物価上昇率の低下もありインフレ期待も急速に盛り上がる可能性は小さいものと思われます。

短期金利については、日銀が大量の資金供給を続けていることから、余剰資金を抱えた投資家からの国庫短期証券への強いニーズも継続し、引続き低位安定の推移を予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	859,971	— (1,090,000)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還による減少分です。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

公社債

買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
		金 額	金 額
		千円	千円
第475回	国庫短期証券	199,993	—
第469回	国庫短期証券	109,993	—
第476回	国庫短期証券	99,998	—
第471回	国庫短期証券	99,996	—
第486回	国庫短期証券	89,999	—
第462回	国庫短期証券	89,994	—
第482回	国庫短期証券	59,999	—
第490回	国庫短期証券	49,999	—
第481回	国庫短期証券	29,998	—
第468回	国庫短期証券	29,997	—

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2014年6月11日から2014年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2014年12月10日現在)

下記は、マネーアカウントマザーファンド全体 (647,607千口) の内容です。

公社債

(A) 国内 (邦貨建) 公社債 <種類別>

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率 5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 140,000 (140,000)	千円 139,999 (139,999)	% 21.5 (21.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 21.5 (21.5)

(注) ( ) 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内 (邦貨建) 公社債 <銘柄別>

区 分	当 期			末	
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国 債 証 券	第481回国庫短期証券	% —	千円 30,000	千円 29,999	2014/12/22
	第482回国庫短期証券	% —	60,000	59,999	2015/1/8
	第490回国庫短期証券	% —	50,000	49,999	2015/2/9
合 計	銘 柄 数 金 額	3 銘柄	140,000	139,999	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 投資信託財産の構成 (2014年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	139,999	21.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	510,042	78.5
投 資 信 託 財 産 総 額	650,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	650,041,535円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	510,042,137
公 社 債 (評価額)	139,999,259
未 収 利 息	139
(B) 純 資 産 総 額 (A)	650,041,535
元 本	647,607,976
次 期 繰 越 損 益 金	2,433,559
(C) 受 益 権 総 口 数	647,607,976口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B/C)	10,038円

- (注) 期首元本額 457,208,014円  
 期中追加設定元本額 232,743,395円  
 期中一部解約元本額 42,343,433円
- (注) 1口当たり純資産額は1.0038円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 中国A株ファンド 10,300,789円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース 129,803,993円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルプル・コース 20,111,485円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルベア・コース 1,498,165円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロプル・コース 1,698,914円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロベア・コース 5,420,975円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルプル・コース 422,322,367円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルベア・コース 300,374円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアルプル・コース 48,868,889円  
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアルベア・コース 4,292,488円  
 T&D Jリートファンド限定追加型1402 2,989,537円

### 損益の状況

当期 自2014年6月11日 至2014年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	72,143円
受 取 利 息	72,143
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	688
売 買 益	688
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	72,831
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,660,690
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	856,605
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 156,567
(G) 合 計 (C+D+E+F)	2,433,559
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	2,433,559

- (注) 損益の状況の中で  
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
 (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。  
 (F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

### 《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。